

第1号議案

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人
ふかや精神保健福祉の会まゆだま

社会福祉法人ふかや精神保健福祉の会まゆだま
令和4年度 事業報告

【法人本部】

新型コロナ感染の第7波は、8月に1日の新規感染者数が26万人を超える凄まじさで、各事業所においても利用者、職員に感染が発生しましたが、どうにか平常の活動を継続し、一日も活動を止めることなく、利用者への支援が続けられました。

就労支援では、はぶたえ移行支援事業から4名が、就労継続支援事業のフレンドリーからも2名が就労することが出来ました。

所内作業も昨年以上に受注納品を増やし、ジョブサポートはぶたえ、フレンドリー、ともに工賃額を上げ、フレンドリーにあっては念願の2万円越えを達成しました。

就労定着支援事業「つむぎ」も5年目に入り、就労定着へ大きく貢献しています。

一方、共同生活援助事業グループホーム「桑ねっこ」は、年度期首に急遽、サービス管理責任者が欠員となり、フレンドリー職員が兼務することとなったものの、退職職員の補充がタイムリーにいかず、他事業所から兼務職員を迎えて事業継続しましたが、年度末で『シェアハウスこかけ』は閉所するに至りました。

1. 役員・評議員

	定数	現員
理事	6以上	6
監事	2以上	2
評議員	7以上	7

※ 任期：理事・監事：令和3年6月15日～
 　　令和4年度に関する定期評議員会終結まで
 　　評議員：令和3年4月1日～
 　　令和6年度に関する定期評議員会終結まで

2. 理事会・評議員会の開催

日 時	会議名	議 事
令和4年5月24日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告 ・令和3年度決算報告 監事報告 ・令和4年度夏季賞与について ・処遇改善加算金の配分について ・各事業所の運営規程改定について ・『育児・介護休業規程』の改廃について
令和4年6月21日	定時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告 ・令和3年度決算報告 監事報告
令和4年7月26日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4、5、6月収支報告 ・施設整備等積立金について ・監事候補者について ・臨時評議員会のみなし決議開催について
令和4年9月15日	臨時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・監事1名の選任の件
令和4年9月27日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月、8月収支報告 ・今年度下半期 非常勤職員時間給の引上げについて ・来年度人件費予算に係る給与表の改定について ・はぶたえ「就労移行事業」定員削減（案）について ・グループホーム「桑ねっこ」の運営について ・消費税インボイス制度への対応について ・『虐待防止委員会規程』（案）について
令和4年11月22日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年9月、10月収支報告 ・令和4年度年末賞与について ・令和4年度処遇改善加算金配分について ・仲村努氏のジョブサポートはぶたえ施設長就任について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
令和5年1月24日	第5回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月、12月収支報告 ・『虐待防止委員会規程』の改正について ・グループホーム「桑ねっこ」運営規程の改正について ・グループホーム「桑ねっこ」重要事項説明書の改正について ・シェアハウスこかけ 備品処分について
令和5年3月28日	第6回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月、2月収支報告 ・令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について ・役員改選を控えて ・『経理規程』の変更について ・『ハラスメント規程』について

		・シェアハウスこかげ 備品処分について
--	--	---------------------

3. 運営委員会の開催

日 時	会議名	議 事
令和4年4月12日	第1回運営委員会	はぶたえ40名、フレンドリー31名、桑ねっこ13名つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和4年5月10日	第2回運営委員会	はぶたえ39名、フレンドリー31名、桑ねっこ13名、つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和4年6月14日	第3回運営委員会	はぶたえ39名、フレンドリー31名、桑ねっこ12名、つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和4年7月12日	第4回運営委員会	はぶたえ39名、フレンドリー32名、桑ねっこ13名、つむぎ5名の月次報告・処遇検討
令和4年8月9日	第5回運営委員会	はぶたえ40名、フレンドリー32名、桑ねっこ12名、つむぎ5名の月次報告・処遇検討
令和4年9月13日	第6回運営委員会	はぶたえ39名、フレンドリー32名、桑ねっこ12名、つむぎ6名の月次報告・処遇検討
令和4年10月11日	第7回運営委員会	はぶたえ39名、フレンドリー32名、桑ねっこ12名、つむぎ6名の月次報告・処遇検討
令和4年11月8日	第8回運営委員会	はぶたえ38名、フレンドリー32名、桑ねっこ12名、つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和4年12月13日	第9回運営委員会	はぶたえ38名、フレンドリー32名、桑ねっこ12名、つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和5年2月14日	第10回運営委員会	はぶたえ41名、フレンドリー32名、桑ねっこ12名、つむぎ8名の月次報告・処遇検討
令和5年3月14日	第11回運営委員会	はぶたえ42名、フレンドリー32名、桑ねっこ12名、つむぎ8名の月次報告・処遇検討

4. 職員体制

	管理者	サービス管理責任者	就労支援員	目標工賃達成指導員	生活支援員	職業指導員 世話人
はぶたえ移行	1	1	1 (0.8)		1	2(1.8)
はぶたえB型				1	1	3(1.9)
つむぎ			就労定着支援員1(兼務0.2)			
フレンドリー	1	1		2 (1.3)	1	6(2.2)
桑ねっこ	1	1 (兼務)			世話人： 7 (2.6) (兼務)	
本部事務局	2(兼務)					

※ () は常勤換算数

5. 実施事業

事業所名	事業種類	定員	指定日	所在地
ジョブサポート はぶたえ	就労移行支援	12	平成29年4月1日	深谷市上野台2504-1
	就労継続B型	18		深谷市稻荷町1丁目1-33
フレンドリー	就労継続B型	20	平成31年3月26日	深谷市緑ヶ丘3-9フジハイツ105 深谷市寿町221 ティーズ青木B棟
	共同生活援助	13		深谷市上野台2504-1
つむぎ	就労定着支援			

6. ボランティア・見学の受入

『彩の国ボランティア体験プログラム』を今年も行い、7月～8月にかけ5名のボランティアを受け入れた。

精神保健福祉実習は、立正大学から1名、東京福祉大学から1名の学生を受け入れた。

7. 研修

資格取得に係るサービス管理責任者基礎研修のほか、法人全体研修として障害者虐待防止及び身体的拘束等適正化研修を実施した。

8. 財務

別紙決算報告のとおり

【ジョブサポートはぶたえ】

なかなか収束しない新型コロナの感染状況に振り回されるなかでの運営となったが、徐々に本来の活動を取り戻してきた1年であった。

また、令和5年1月より、深谷メンタルクリニックで長く相談支援に従事してきた精神保健福祉士の仲村努氏を新たに管理者に迎え、当事業所の強みである医療との連携の強化を図るとともに、就労への支援に向けた体制をより充実させていく。

1. 利用状況

就労移行（定員12名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	6.8	7.5	6.7	6.2	5.8	5.6	5.3	5.2	4.6	4.9	5.8	5.9	5.8(名)
稼働率	56	62	55	51	48	46	44	42	38	41	48	49	48(%)

継続B型（定員18名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	12.7	13.4	14.0	15.5	16.1	15.2	14.4	14.2	14.5	13.9	15.3	17.1	14.7(名)
稼働率	70	74	77	86	89	84	79	78	80	77	85	94	81(%)

2. 支援内容

①就労移行支援事業

この1年で4名が就労に結びついた。

しかし、一日の平均利用人数は5.8名と、利用率も50%を切ってしまっている。

これは当事業利用者のほとんどが就労継続B型からの転籍者であり、コロナ禍で継続B型の新規利用者や通所日数が伸び悩んだ結果、転籍者が増えなかったこと。また、その中にあっても就労移行事業利用者に対しては着実に就労に結び付けてきたことがある。

そのため新規利用者に比べ退所（卒業）者が多くなり、結果として利用率が大きく低下してしまった。

現在、コロナ感染状況が落ち着き、新規利用者の増加傾向がみられるため、スムーズな転籍を図るとともに、近隣地域での就労移行事業所が増加する中で、当事業所の強みを意識しながら、転籍以外から就労移行の利用も図れるよう他機関との連携や周知を進めていきたい。

②就労継続支援B型事業

この1年の一日平均利用人数は14.7名（前年比+0.1名）で、81%の稼働率であった。

登録者数は一定程度を維持できているものの、コロナ禍による影響もあり1年間を通してみると、稼働率の大きな改善には至っていない。

しかし、令和5年に入ると新規利用者の増加に加え、一人当たりの平均利用日数も増え、稼働率の上昇につながっている。

今後も他機関との連携や周知、個別支援を通じて、この状態を推し進めていきたい。

就労移行新事業への転籍者は2名（前年比-5名）であった。

前年に比べてかなり少ない人数である。コロナ禍により、それぞれの参加日数が増えなかつたことによるものと思われる。

今後は、まだ参加日数の少ない利用者の通所日数の安定化を図ることで就労に向けた準備を支援し、スムーズな就労移行支援事業への転籍を進めていきたい。

平均工賃は、6,354円（前年比+65円）であった。

今後も就労に繋がる作業の種別の検討と充実を図りながら、通所意欲及びその先の就労意欲に結びつくような工賃アップを図っていきたい。

3. 家族懇談会

新型コロナウィルス拡大により昨年度に引き続き中止した。

【フレンドリー】

1. 利用状況

継続B型（定員20名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	20.2	18.8	19.2	18.2	17.1	17.6	18	18.4	18.7	16.3	17.7	18	18.2(名)
稼働率	101	94	96	91	85	88	90	92	93	81	88	91	91(%)

2. 支援内容

昨年度は2名が就労して1年以上定着しているのに続き、今年度も2名が就職して両名とも半年以上定着している。

就労継続支援B型事業所からでも毎年着実に就労に繋がっていることから、事業所内の意欲の高まり、技能の向上が認められる。

就労したメンバーのほかにも短期就労訓練やトライアルに挑戦するメンバーも多く、次へつながる得難い体験をしている。

就労へ、訓練へと進むと平均利用者数が低下することとなり、少ないメンバーをスタッフが適切に支援した結果、平均工賃月額が昨年度17,109円から20,093円へ、念願の2万円台へ進むこととなった。

一方、利用者それぞれの利用目的に寄り添う大原則がぶれることは全くなく、長く通所しながら日常生活を維持継続した高齢利用者をケアホームへ繋げることもできた。また、非常に悲しい旅立ちを見送った1年であった。

【グループホーム「桑ねっこ」】

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
桑ねっこ(9)	利用数	8.0	8.0	8.0	8.0	7.7	7.0	7.0	8.0	7.9	7.6	8.0	8.0
こかげ(5)	利用数	4.6	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0
全体計(14名)	利用数	12.6	12.0	12.0	12.0	11.6	11.0	11.0	11.8	11.9	11.6	12.0	11.5
	稼働率(%)	96	92	92	92	89	84	84	90	91	89	92	88
													90

※稼働率は、小数点以下を切り捨て

2. 特記事項

常勤職員、短時間の非常勤職員が相次いで退職し、その補充がままならず、2棟のグループホームを運営するために必要な職員を、欠員が出るたびにフレンドリーから兼務職員として勤務させることができ、9月理事会において『シェアハウスこかげ』を年度末で閉所することに決まった。

利用者及び家族へ説明を行い、同意のもとに関係機関の支援を受けて転居先施設を探し、全員が3月末までに退去した。

昨年度3月から不足人員をフレンドリー職員が兼務し、12月からはフレンドリーからの兼務職員でほぼ運営している。

【つむぎ】

1. 利用状況

就労定着支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	7	6	2	4	6	4	7	5	7	7	6	7	5.6(名)

2. 支援内容

5年目を迎えるの定着支援事業つむぎは、月平均5.6名が利用した。支援内容は、職場の人間関係、勤務時間の延長に対する悩み、体調の変化、家族との関係等多岐にわたっており、月1回の面談をベースに、時には職場への支援や電話相談を重ねながら支援を行っている。

利用期限は3年間ではあるが、就労の前から重ねてきた支援を『定着支援』として継続することは、就労安定に効果は高いと言える。